

休日支援 ボランティアの募集について

令和2年6月8日

指定障害福祉サービス事業所

愛心苑

1.趣 旨

知的ハンディを持つ人達の休日の余暇時間を充実したい。

2.名称

愛心苑ボランティアサークル「ルピナス」

(花言葉： "多くの仲間")

(代表：愛心苑施設長 佐藤 正俊)

3.対象者

グループホーム利用者及び愛心苑利用者

4.実施日

月 1 回 日曜日

5.主な活動内容

- ①里山等自然公園観察 (ウォーキング、トレッキング 等)
- ②レクリエーションのサポート (戸外又は体育館利用)

6.主な日程

- ①活動の場所 イベント会場や景勝地、自然公園等
- ②集合場所 原則、愛心苑 (行先によって最寄りの場所)
- ③利用者の送迎 原則、保護者 (事情によっては主催者)
- ④移動 愛心苑車借用
- ⑤昼食 各自持参 (途中で弁当購入も可)

7.参加費

利用者 1人 1, 000円

(鍋もの等材料費、ガソリン代、保険料)

(ボランティアは無料)

8.障がい者参加人数

10名程度

9.交通手段

愛心苑車借用

10.保険

ボランティア保険加入

11.募集の範囲

学生、一般住民、保護者、愛心苑職員

12.活動実施要項

約1ヶ月前に配布します。

13.連絡先

秋田市金足浦山字岩崎 174番地

(電話) 愛心苑 018-873-7922

連絡係 畠山 達也 (グループホーム管理課長)

社会福祉法人 愛心会

施設 の 概 要

1. 設置主体 社会福祉法人 愛心会
所在地 010-0113
秋田市金足浦山字岩崎174
TEL 018-873-7922
FAX 018-873-6533

2. 事業名

【1】

■名 称 指定障害福祉サービス事業所 愛心苑
■所 在 地 010-0113
秋田市金足浦山字岩崎174
TEL 018-873-7922
FAX 018-873-6533
■種 別 生活介護
■定 員 40名
■目 的 障害者総合支援法及び関係法規に則り、家庭から通所する在宅知的障害者が、多様な福祉サービスのもとで、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。



【2】

- 名 称 共同生活援助「あいしんホーム」
- 定 員 男性11名、女性5名 合計16名
- 目 的 知的障害者に地域での共同生活居宅を提供し、日常生活の支援をおこない自立した生活を目指す。

①「あいしんホーム」



011-0922
秋田市飯島松根東町4-44
018-846-7682 (FAX 兼用)

定 員 男 性 6 名
職員体制 世話人 2 名
週 1 回 相談支援職員配置

②「あいしんホーム みなと」



010-0941
秋田市土崎港北1丁目7-21
018-845-1770 (FAX 兼用)

定 員 男 性 5 名
職員体制 世話人 2 名
宿直職員配置

③「あいしんホーム あおやま」



011-0932
秋田市将軍野青山町12-5
018-857-0121 (FAX 兼用)

定 員 女 性 5 名
職員体制 世話人 3 名
週 1 回 相談支援職員配置

【3】

- 名称 短期入所 みなと (あいしんホーム みなと内)
- 所在地 010-0941
秋田市土崎港北1丁目7-21
- 種別 短期入所 (ショートステイ)
- 定員 2名
- 目的 利用者及び家庭の介護を軽減するために短期間施設を利用し、家庭生活・社会生活の安定を図る。

3. 基本理念

・障害者も当たりまえの人として生活できるように支援すると共に、地域社会の中で共生できる施設運営を図る

- ① 利用者主体の支援に徹する
利用者個々の尊厳を保持し、ニーズに基づいた支援を推進していくことにより、楽しいと感じる活動に心がけていく。また、利用者から常に学び、高め合う姿勢を持ち支援活動に取り組む。
- ② 信頼関係の構築に励む
利用者個々における発達段階を理解し、人格や行動を情緒豊かに受け止め、「作らせる」「訓練する」のではなく、どのようなことができるのかを出発点として支援活動に取り組む。
- ③ 可能な限り自立を目指す
利用者の能力を的確に把握し可能な限り完全自立、もしくは保護的自立を目指す。また、単に仕事ができる(作業支援重視)のみではなく、全人教育を目指す。

4. 登苑方法

自力通苑が困難な利用者に、最寄りの地点より送迎車を運行しています。

- ① マイクロバス (29人乗り) …… 新屋方面 新国道経由
- ② ワゴン車A (10人乗り) …… 御所野方面 秋田駅東口経由
- ③ ワゴン車B (10人乗り) …… 牛島方面 秋田駅西口経由
- ④ ワゴン車C (8人乗り) …… グループホーム利用者用の送迎

5. 一日の生活プログラム

- 9：20 登苑、連絡帳確認、健康チェック
9：30 朝の会、利用者出欠確認、苑歌合唱、ラジオ体操
10：00 午前の活動
12：00 昼食
13：30 午後の活動
15：40 帰りの会
16：00 帰宅 ※冬期間（12月～2月）は15：30帰宅

6. グループ活動

【ひいらぎグループ】

情緒の安定と生活リズムの構築を第一の目標としてコミュニケーション能力の向上を図る。また、軽作業や運動を通して職員との良好な関係づくりを目指していくグループ。

作業内容・・・AM、PM ウォーキング / 個別活動

【あららぎグループ】

コミュニケーション能力の向上を図り、日常生活動作の向上を養っていく。また、軽作業や運動を通して集団生活内での協調性向上を目指していくグループ。

作業内容・・・AM、PM ウォーキング / 個別活動

【あすなろグループ】

作業を通じて仲間との協調性や作業の持続力を養い、社会自立に必要なルールやマナーを習得し社会性の向上を目指していくグループ。

作業内容・・・AM 畑作業、園芸作業

PM 食品加工、フルーツネット折り、ゴルフボール拾い、個別活動

7. 年間行事

(1) 全体行事

4月	年度始めの式	1月	新春を祝う会、成人式
8月	町内合同スポレク	2月	節分
10月	愛心苑祭	3月	年度末ご苦労様会
12月	クリスマス会		

(2) グループ行事

グループ毎に2か月に1回程度実施。